

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	昭和医科大学
設置者名	学校法人昭和医科大学 理事長 小口 勝司

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
医学部	医学科	夜・通信	0	0	20	20	19	
歯学部	歯学科	夜・通信	0	0	22.5	22.5	19	
薬学部	薬学科	夜・通信	0	0	20	20	19	
保健医療学部	看護学科	夜・通信	0	0	13	13	13	
	理学療法学科	夜・通信	0	0	13	13	13	
	作業療法学科	夜・通信	0	0	18	18	13	
	リハビリテーション学科	夜・通信	0	0	13	13	13	
(備考)「実務経験のある教員等による授業科目」の数、別紙①のとおり(省令で定める基準単位数抜粋分)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	昭和医科大学
設置者名	学校法人昭和医科大学 理事長 小口 勝司

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.showa-u.ac.jp/about_us/foundation.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	他大学名誉教授	令和7年5月23日 開催の評議員会終 結の時～令和11年 度の最初の定時評 議員会終結の時	学校法人運営に関 する助言
非常勤	株式会社代表取 締 役社長	令和7年5月23日 開催の評議員会終 結の時～令和11年 度の最初の定時評 議員会終結の時	学校法人運営に関 する助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	昭和医科大学
設置者名	学校法人昭和医科大学 理事長 小口 勝司

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>昭和医科大学の理念・教育理念、各学部教育目標を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを策定し、それに沿ったカリキュラムを編成している。</p> <p>各学部には教育委員会、カリキュラム検討委員会、プログラム評価委員会を設置し、IR 室と連携してカリキュラムの PDCA サイクルを回している。その検討内容をシラバスに反映させている。</p> <p>シラバス作成準備は後期から進め、12 月～2 月にかけて教員によるシステム入力を行い、チェックを経たのち、3 月中に学生へ公開および大学ホームページで社会一般に公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>昭和医科大学アセスメント・ポリシーを策定し、学修成果についてディプロマ、カリキュラム、アドミSSIONの 3 つのポリシーに基づき評価している。</p> <p>履修認定については、学則ならびに各学部履修要項に明示している。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。				
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)				
・成績評価区分及びGrade Point (G P) の取扱いについて				
下表の評価区分により各科目の学年成績に対してPointを付与する。				
評価	成績評価基準	評価内容	G P	判定
秀 (S)	100～90 点	到達目標を十分に達成しており、きわめて優秀な成績を示している。	4	合格
優 (A)	89～80 点	到達目標を達成しており、優秀な成績を示している。	3	合格
良 (B)	79～70 点	到達目標の達成は、望ましい水準に達しており、妥当な成績を示している。	2	合格
可 (C)	69～60 点	到達目標の達成は、望ましい水準には不十分だが、不合格ではない。	1	合格
不可 (D)	59 点以下	不合格	0	不合格
・G P A算出方法				
$4 \times (\text{S}) \text{ 取得単位数} + 3 \times (\text{A}) \text{ 取得単位数} + 2 \times (\text{B}) \text{ 取得単位数} + 1 \times (\text{C}) \text{ 取得単位数} + 0 \times (\text{D}) \text{ 取得単位数}$				
①当該年度G P A = $\frac{\text{上記の数値}}{\text{当該年度履修単位数 (不可 (D) の単位を含む。)}} \quad$				
$4 \times (\text{S}) \text{ 取得単位数} + 3 \times (\text{A}) \text{ 取得単位数} + 2 \times (\text{B}) \text{ 取得単位数} + 1 \times (\text{C}) \text{ 取得単位数} + 0 \times (\text{D}) \text{ 取得単位数}$				
②累積G P A = $\frac{\text{上記の数値}}{\text{総履修単位数 (不可 (D) の単位を含む。)}} \quad$				
※小数点第3位を四捨五入する。				
・GPA算出の対象科目				
5段階評価(秀・優・良・可・不可)によって成績を認定された科目				
「合格・不合格」による評価は、対象としない。				
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://kyoumu.showa-u.ac.jp/System/Syllabusgaku/Default.asp?isfirstdisplay=1&nendo=2025			
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。				
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)				
卒業に関する方針については、各学部履修要項において明示している。				
必要な知識を習得しているか(国家試験に合格するレベルに達しているか)を判定する卒業試験を実施している。				
また、医歯薬学部4年生においては、共用試験を実施し、知識の評価に加え、技能・態度についての評価も行っている。更に、医歯学部では、卒業時における技能・態度を評価する共用試験も実施している。				
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/			

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	昭和医科大学
設置者名	学校法人昭和医科大学 理事長 小口 勝司

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学総務課の事務所での備え置き及びホームページでの公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/financia.html
収支計算書又は損益計算書	大学総務課の事務所での備え置き及びホームページでの公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/financia.html
財産目録	大学総務課の事務所での備え置き及びホームページでの公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/financia.html
事業報告書	ホームページにて公開 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/financia.html
監事による監査報告（書）	https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/financia.html

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和7年度事業計画 対象年度： 令和7年度 ）
公表方法：本学 HP にて公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/midterm_annual_plan.html
中長期計画（名称：令和7年度～11年度中期計画書 対象年度：令和7～11年度）
公表方法：本学 HP にて公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/midterm_annual_plan.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：本学 HP にて公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/self-check.html
--

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：本学 HP にて公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/self-check.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる公表 URL：https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/）</p>
<p>（概要） 医療系総合大学である昭和医科大学は建学の精神である「至誠一貫」のもと、真心と情熱をもって医療の発展と国民の健康増進と福祉に真心をもって寄与する優れた人材を育成することを目的としている。これを達成するため、各学部教育目標を設定し、教育・研究に取り組んでいる。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 （URL：https://www.showau.ac.jp/about_us/disclosure/））</p>
<p>（概要） 昭和医科大学生が卒業時に有している医療人としての能力として、7 つのコンピテンシー（昭和医科大学コンピテンシー）を設定している。そして、各学部ディプロマポリシーおよびコンピテンシーが設定され、教育研究上の目的を達成するためのカリキュラムを履修し、定められた修業年限の中でポリシーおよび基本的技能を身につけた学生に学位を授与している。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 （URL：https://www.showau.ac.jp/about_us/disclosure/））</p>
<p>（概要） ディプロマポリシーを達成するため、1 年次から卒業年次まで体系的で段階的、横断的なカリキュラムを編成し、各学年カリキュラム・ポリシーを設定している。本学の特徴である「チーム医療」を担う医療職に対する理解と自覚を促す目的で低学年から専門教育を行うカリキュラムとなっている。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： ・昭和医科大学案内 入手方法:https://www.postin-svr.com/entry/showa-u/index.asp より資料請求。 ・ホームページによる公表 （URL：https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/）</p>
<p>（概要） 「至誠一貫」の精神を体現する医療人の育成を目的に次のような学生を広く求めます。 1) 常に真心を持って人に尽くす意欲と情熱のある人 2) チーム医療を担うための協調性と柔軟性のある人 3) 医療や健康にかかわる科学に強い興味を持つ人 4) 自ら問題を発見し解決する積極性のある人 5) 医療を通じた国際社会への貢献に関心のある人 6) 1 年次の全寮制共同生活・学修に積極的に取り組める人 ※各学部の受け入れ方針（アドミッションポリシー）も併せて公表</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
ホームページによる公表
(URL：https://www.showau.ac.jp/about_us/disclosure/)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	4 人	－					4 人
医学部	－	114 人	125 人	242 人	1,377 人	0 人	1,858 人
歯学部	－	22 人	22 人	36 人	157 人	0 人	237 人
薬学部	－	21 人	23 人	49 人	121 人	0 人	214 人
保健医療学部	－	27 人	28 人	125 人	0 人	0 人	180 人
教育部	－	11 人	4 人	6 人	0 人	0 人	21 人
附属研究所	－	8 人	13 人	21 人	9 人	0 人	51 人
その他	－	58 人	7 人	16 人	1 人	0 人	82 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		2,202 人					2,202 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：学内ホームページ「研究者情報・業績集」にて公表 https://rira.showa-u.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=templatel					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教育の質の向上、教育職員の教育能力向上を目的とし、毎年全教育職員を対象に教育者のためのワークショップ（ビギナーズコース・アドバンストコース）やファシリテーター養成ワークショップ、シラバス作成ワークショップ等を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医学部	131 人	131 人	100.0%	757 人	772 人	102.0%	0 人	0 人
歯学部	105 人	100 人	95.2%	630 人	603 人	95.7%	若干名	0 人
薬学部	200 人	209 人	104.5%	1,200 人	1,200 人	100.0%	0 人	0 人
保健医療学部	155 人	162 人	104.5%	640 人	635 人	99.2%	10 人	5 人
合 計	591 人	602 人	101.9%	3,227 人	3,210 人	99.5%	若干名+10 人	5 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医学部	107 人 (100%)	19 人 (17.8%)	80 人 (74.8%)	8 人 (7.5%)
歯学部	87 人 (100%)	0 人 (0%)	85 人 (97.7%)	2 人 (2.3%)
薬学部	178 人 (100%)	9 人 (5.1%)	155 人 (87.1%)	14 人 (7.9%)
保健医療学部	161 人 (100%)	15 人 (9.3%)	136 人 (84.5%)	10 人 (6.2%)
合計	533 人 (100%)	43 人 (8.1%)	456 人 (85.6%)	34 人 (6.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) [医学部] 本学附属病院、本学附属病院以外など [歯学部] 昭和医科大学歯科病院、本学附属病院以外など [薬学部] 本学附属病院、本学附属病院以外、薬局・ドラッグストアなど [保健医療学部] 本学附属病院、本学附属病院以外など (備考) 薬学部の進学者 9 名のうち 5 名就職もしている。				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>昭和医科大学の理念・教育理念、各学部教育目標を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを策定し、それに沿ったカリキュラムを編成している。各学部には教育委員会、カリキュラム検討委員会、プログラム評価委員会、IR 委員会を設置し、IR 室と連携してカリキュラムの PDCA サイクルを回している。その検討内容をシラバスに反映させるようにしている。シラバス作成準備は後期から進め、12 月～2 月にかけて教員によるシステム入力を行い、チェックを経たのち、3 月中に学生へ公開および大学ホームページで社会一般に公表している。</p> <p><シラバス URL> https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/ </p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 昭和医科大学生が卒業時に有している医療人としての能力として、7つのコンピテンシー（昭和医科大学コンピテンシー）を設定している。そして、各学部ディプロマポリシーおよびコンピテンシーが設定され、教育研究上の目的を達成するためのカリキュラムを履修し、定められた修業年限の中でポリシーおよび基本的技能を身につけた学生に学位を授与している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医学部	医学科	213 単位	有・無	単位
歯学部	歯学科	214.5 単位	有・無	単位
薬学部	薬学科	195.5 単位	有・無	単位
保健医療学部	看護学科 (2022 年度以降入学者)	127 単位	有・無	単位
	看護学科 (2021 年度以前入学者)	129 単位	有・無	単位
	理学療法学科	126 単位	有・無	単位
	作業療法学科	128 単位	有・無	単位
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	126 単位	有・無	単位
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	128 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： ・ ホームページによる公表 https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部	学科	入学年度	入学金	授業料 (年間)	その他	備考
医学部	医学科	2025	1,500,000	3,000,000	800,000	寮費・食費
		2024～2020	0	3,000,000	1,500,000	教育・施設充実費
		2019～2018	0	3,000,000	500,000	教育・施設充実費
歯学部	歯学科	2025	1,500,000	3,000,000	800,000	寮費・食費
		2024～2020	0	3,000,000	1,500,000	教育・施設充実費
		2019～2016	0	3,000,000	1,000,000	教育・施設充実費
薬学部	薬学科	2025	600,000	1,400,000	800,000	寮費・食費
		2024～2020	0	1,400,000	600,000	教育・施設充実費
		2019～2017	0	1,400,000	500,000	教育・施設充実費
保健医療学部	看護学科	2025	300,000	750,000	800,000	寮費・食費
		2024～2021	0	1,050,000	630,000	教育・施設充実費
	理学療法学科	2022	0	1,050,000	800,000	教育・施設充実費
	作業療法学科	2022～2021	0	1,050,000	800,000	教育・施設充実費
	リハビリテーション 学科	2025	300,000	750,000	800,000	寮費・食費
		2024～2023	0	1,050,000	800,000	教育・施設充実費

※休学在籍料として、60,000 円（半期分）と教育・施設充実費を徴収する。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>（概要）</p> <p>医学部・歯学部・薬学部の学生への修学に関する支援・指導を充実するために、学業成績下位学生や支援が必要と判断した学生に対する修学支援を実施している。</p> <p>担当教員には「修学支援ガイドライン」を配布し、業務の内容、指導に当たっての遵守事項等を周知している。修学支援担当教員は該当援学生に対し、月 1 回程度面談を行い、「講義の理解度」「学習環境」「自主学習時間」「講義の出欠状況」等、学生の様子を聞き取りながら指導に当たっている。また、面談内容・指導内容についてはポータルサイトの所見欄（指導コメント）に入力し、情報を共有している。</p> <p>また、経済的理由により修学が困難な学生への支援として、学費納付に関する支援制度を設けている。経済的な理由により学費の期日までの納付が困難な学生（新入生を含む）に対し、所定の書類（「学費分納・延納願」等）による願い出に基づき、学費の分納または延納を認める制度を運用している。大学として許可された場合の納付期限、分納回数を設け運用しています。これにより、学生が経済的な不安を軽減し、学業に専念できるよう支援している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>（概要）</p> <p>進路指導および就職支援を教育の一環と位置づけ、専門部署としてキャリア支援室を設置しています。学生が自身のキャリアに対し早期から関心を持ち、主体的に進路設計できるよう積極的に支援している。</p> <p>具体策として、キャリア形成に資する情報を網羅した「キャリアハンドブック」を全学部（医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部）の学生に配布しています。本学独自の進</p>

路支援システム「昭和医科大学キャリアナビ」を運用し、求人情報の閲覧、就職ガイダンスの申込受付、個別相談記録の管理などを一元的に行っている。加えて、学生と社会人等との交流の場として「談話会」を毎月1回開催し、キャリア意識の醸成を図っています。キャリア支援室には、国家資格キャリアコンサルタントを有する専任事務職員1名を配置し、専門的な相談に対応している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)
 心的支援、健康相談、生活相談に関して、学生課、学生相談室、保健管理センターが緊密に連携し、学生情報を適切に共有している。学生相談室では、対面相談に加え、電話やウェブ会議システムを利用した遠隔相談にも対応し、学生がアクセスしやすい環境を整備するとともに、質の高いカウンセリング体制の維持・向上に努めている。保健管理センターは、本学附属病院と連携し、必要に応じて医療情報を共有することで、迅速かつ適切な診療・指導が可能な体制を整えている。これらの支援体制については、学生課が主導し、毎年度初めの新入生オリエンテーションで詳細な説明を行うほか、大学公式ウェブサイトにも常時情報を掲載し、周知徹底を図っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：
 ・ホームページによる公表
https://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F113310103073
学校名（〇〇大学 等）	昭和医科大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人昭和医科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		72人（ － ）人	74人（ － ）人	79人（ － ）人
内 訳	第Ⅰ区分	42人	43人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	17人	13人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	一人	12人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	一人	一人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				一人（ 0 ）人
合計（年間）				80人（ － ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	後半期
		人	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	— 人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	— 人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。